



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月12日

上場会社名 ティアンドエス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4055 URL <https://www.tecsvc.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 武川 義浩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部長 (氏名) 木下 洋 TEL 045-263-8286
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績（2023年12月1日～2024年2月29日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	837	4.0	138	△3.7	138	△3.5	100	△0.2
2023年11月期第1四半期	806	9.9	143	13.3	143	13.2	100	13.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	13.29	13.22
2023年11月期第1四半期	13.37	13.24

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	2,596	2,214	85.3
2023年11月期	2,616	2,163	82.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 2,214百万円 2023年11月期 2,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	-	0.00	-	6.55	6.55
2024年9月期	-	-	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	0.00	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年12月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,142	-	588	-	589	-	401	-	52.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年2月28日開催の当社第8回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、2023年12月1日から2024年9月30日までの10か月間の変則決算となっております。このため、通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期1Q	7,633,200株	2023年11月期	7,633,200株
2024年9月期1Q	54,840株	2023年11月期	54,800株
2024年9月期1Q	7,578,384株	2023年11月期1Q	7,547,787株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの各種政策の下、緩やかな景気の持ち直しがみられるものの、電子部品・デバイスの生産は減少するなど、一部に弱さがみられました。半導体の供給不足や資源価格の上昇、為替相場の変動など先行き不透明な状況が続いておりますが、企業活動においては、在宅勤務やオンラインミーティングの活用、クラウドサービスの活用、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進など、ITの重要性や業務のIT化の流れはますます拡大している状況であります。

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントですが、事業の構成を3カテゴリーに分け事業展開しております。従来、ソリューション、半導体、先進技術ソリューションの3カテゴリー構造としておりましたが、当第1四半期より、DXソリューション、半導体ソリューション、AIソリューションの3カテゴリー構造に変更しております。上記のような経済環境のなか「DXソリューションカテゴリー」では大手企業顧客を中心にIT人材の供給を継続し、IT開発を支える事業の拡大を図ってまいりました。「半導体ソリューションカテゴリー」では半導体関連企業向けに、工場内システムの開発、保守及び運用サービスの拡大を図ってまいりました。「AIソリューションカテゴリー」ではAI関連製品を開発中のお客様向けのソリューション提供の拡大を図ってまいりました。

当第1四半期累計期間におけるカテゴリー毎の経営成績は次のとおりであります。

①DXソリューションカテゴリー

当第1四半期累計期間の売上高は、512,186千円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

主要取引先に加え、新規も含め主要取引先以外からの受託開発案件の受注も堅調に推移しました。

②半導体ソリューションカテゴリー

当第1四半期累計期間の売上高は、260,638千円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

半導体の生産調整を受け、工場内で保守・運用サービスに従事するエンジニア数が軟調に推移しました。

③AIソリューションカテゴリー

当第1四半期累計期間の売上高は、65,169千円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

AI、画像認識、ハードウェア制御等の高度技術を駆使したサービスや最先端技術に関わる研究開発支援サービスが順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高837,993千円（前年同四半期比4.0%増）となりました。エンジニア採用費6,503千円の増加等が影響し、営業利益138,146千円（前年同四半期比3.7%減）、経常利益138,260千円（前年同四半期比3.5%減）、四半期純利益100,743千円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,331,064千円となり、前事業年度末に比べ121,081千円減少いたしました。これは主にティアンドエス分割準備株式会社への出資等により現金及び預金が83,600千円、ファクタリング債権の回収に伴い未収入金が28,052千円減少したことによるものであります。固定資産は265,136千円となり、前事業年度末に比べ100,820千円増加いたしました。これは主にティアンドエス分割準備株式会社への出資により関係会社株式が110,000千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,596,201千円となり、前事業年度末に比べ20,260千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は323,462千円となり、前事業年度末に比べ72,358千円減少いたしました。これは主に税金の支払に伴い未払法人税等が49,599千円、冬季賞与の支給に伴い未払費用が44,155千円減少したことによるものであります。固定負債は58,477千円となり、前事業年度末に比べ1,085千円増加いたしました。これは退職給付引当金が1,085千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は381,939千円となり、前事業年度末に比べ71,273千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,214,261千円となり、前事業年度末に比べ51,012千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益の計上により100,743千円増加し、配当により49,638千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2024年1月30日の「決算期変更に伴う通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年11月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,721,266	1,637,665
売掛金及び契約資産	434,644	407,032
仕掛品	12,942	31,423
未収入金	268,606	240,554
その他	16,485	15,988
貸倒引当金	△1,800	△1,600
流動資産合計	2,452,145	2,331,064
固定資産		
有形固定資産	19,481	18,634
無形固定資産	1,609	1,474
投資その他の資産	143,225	245,027
固定資産合計	164,315	265,136
資産合計	2,616,461	2,596,201
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,884	160,362
未払法人税等	79,732	30,132
賞与引当金	7,023	27,328
その他	138,179	105,639
流動負債合計	395,820	323,462
固定負債		
退職給付引当金	57,392	58,477
固定負債合計	57,392	58,477
負債合計	453,212	381,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	340,783	340,783
資本剰余金	266,662	266,662
利益剰余金	1,629,556	1,680,661
自己株式	△73,753	△73,845
株主資本合計	2,163,249	2,214,261
純資産合計	2,163,249	2,214,261
負債純資産合計	2,616,461	2,596,201

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年2月29日)
売上高	806,016	837,993
売上原価	559,687	595,460
売上総利益	246,328	242,533
販売費及び一般管理費	102,910	104,386
営業利益	143,418	138,146
営業外収益		
受取利息	2	4
雑収入	0	297
営業外収益合計	2	301
営業外費用		
支払手数料	173	188
その他	0	0
営業外費用合計	173	188
経常利益	143,246	138,260
税引前四半期純利益	143,246	138,260
法人税、住民税及び事業税	14,570	30,133
法人税等調整額	27,759	7,383
法人税等合計	42,329	37,516
四半期純利益	100,916	100,743

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2022年12月1日 至 2023年2月28日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年2月29日）

当社の事業は、システム開発及びその関連サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。